

《議事録》WG ろってくめ (第2回 MTG)

ワーキンググループ名：ろってくめ

記録者：糸純一

開催日：2024年10月15日(火)

開催時間：20時15分～22時15分

開催場所：ふれあい歯科ごとう

形式：リアル

参加人数：4人

参加者名：五島先生、坂ノ下様、二川様、糸



◆本日の活動テーマ

WG ろってくめの今後の展開に関する議論・深掘り

◆議論の内容

1. WGの目的の確認

1) ロッテ社「咀嚼チェックガム」を活用して、咀嚼力にあった食事の提供に繋がりたい！

2) 咀嚼力と食形態の関連性のデータ化を図りたい！

⇒まずは1)を試験的に行いつつ取り組みを開始する

将来的に2)にも繋がっていく

2. そもそも「咀嚼チェックガム」とは(株式会社ロッテHP等より)

>説明書：chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.oralcare.co.jp/product/images/soshaku_sk.pdf

>アプリとの連携も：<https://www.lotte.co.jp/kamukoto/mouth/1792/#i-5>



咀嚼能力を短時間で確認

きちんと噛めることは、快適な生活をするためにとても大切です。『キシリトール咀嚼チェックガム』は、噛むことで色が変わります。子どもから大人まで、おいしく簡単に咀嚼能力を確認できます。

咀嚼時間とガムの色調変化



3. 上記目的1) (咀嚼力にあった食事の提供) の実現に向けてのアイデア

宅配弁当の配達時に「咀嚼チェックガム」を噛んでもらい、咀嚼力を測定

⇒噛んだガムを専用測定シートに吐き出して、咀嚼力をビジュアルで簡単にその場で測定・確認

<専用測定シート (イメージ)>



※designed by 二川優子

⇒測定結果をもとに、

- ・配達員の改善アドバイスに繋げる（「もっと固いもの食べても大丈夫」など）
- ・利用者の咀嚼力にマッチしたお弁当を届ける（「咀嚼チェックガム」をスクリーニングツールに） など

⇒中長期的には咀嚼力とお弁当の相関性が分かるデータ化

などなど

4. 次のステップ&課題

1) 宅配弁当会社さんに話を聞いてみよう！

⇒次回 10/31 の NOMUZO！（非公認 WG）にて、(株)ONKURI 長野社長に相談

2) 配食時の運用工数の削減が必要！

⇒Google フォームやスプレッドシート等を活用した運用を検討

3) 専用測定シートに使用者の氏名記載ができたり、測定値の良し悪しが分かるといいよね！

⇒シートデザインの変更

4) 有料老人ホームでも活用できそう！（皆さんにゲーム感覚で試してもらう）

⇒今後の課題

5) 全国日本酒ツアー？

等

◆次回開催予定

11月19日(火)20時頃～@ふれあい歯科ごとう

>大歓迎！皆さんのご参加をお待ちしております！

以上